

信州大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年4月3日

「COVID-19 流行期前後における ANCA 関連血管炎の臨床像に関するコホート研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5126
研究課題名	COVID-19 流行期前後における ANCA 関連血管炎の臨床像に関するコホート研究
所属(診療科等)	リウマチ・膠原病内科
研究責任者(職名)	下島 恭弘(リウマチ・膠原病内科/診療教授・科長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日
研究の意義、目的	COVID-19 の流行期において最適な診療・治療方針を見つけ出すことを目的とした研究で、ANCA 関連血管炎の患者さんに安全性の保証された診療・治療を提供することに貢献すると考えられます。
対象となる方	2017年4月1日から倫理委員会承認日の期間に当院で ANCA 関連血管炎について医療を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、治療内容、経過など
他機関への情報の提供方法	電子的配信により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、個人情報を匿名化したうえでデータベース化します。当施設での倫理申請にて承認を得た後に、このデータベースを用いた臨床研究を行います。
共同研究機関名	京都府立医科大学免疫内科学(責任者:川人豊)、山梨大学医学部附属病院リウマチ・膠原病内科(責任者:中込大樹)、順天堂大学医学部附属順天堂医院膠原病・リウマチ内科(責任者:田村直人)、京都第一赤十字病院リウマチ内科(責任者:角谷昌俊)、中部ろうさい病院リウマチ膠原病科(責任者:滝澤直歩)、聖路加国際病院リウマチ膠原病センター(責任者:野村篤史)、京都第二赤十字病院膠原病内科(責任者:荻田祐司)、京都桂病院腎臓内科(責任者:近藤尚哉)、公立陶生病院呼吸器アレルギー疾患内科(責任者:山野泰彦)、鹿児島大学病院血液膠原病内科(責任者:吉満誠)、鳥取県立中央病院総合内科(責任者:遠藤功二)、広島大学病院リウマチ・膠原病内科(責任者:平田信太郎)、

	<p>聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科（責任者：川畑仁人）、兵庫医科大学糖尿病内分泌・免疫内科（責任者：松井聖）、大阪医科薬科大学リウマチ膠原病内科（責任者：武内徹）、長崎大学リウマチ膠原病内科学分野（責任者：福井翔一）、北海道大学内科Ⅱ（責任者：渥美達也）、昭和大学リウマチ・膠原病内科（責任者：柳井亮）、東京共済病院リウマチ膠原病センター（責任者：松尾祐介）、金沢大学リウマチ・膠原病内科（責任者：川野充弘）、鳥取大学医学部呼吸器・膠原病内科（責任者：山崎章）、鳥取大学医学部腎臓内科（責任者：高田知朗）、島根大学医学部膠原病・リウマチ内科学（責任者：一瀬邦弘）、佐世保中央病院リウマチ・膠原病センター（責任者：高谷亜由子）、岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科学（責任者：宮脇義亜）、東北大学病院リウマチ膠原病内科（責任者：白井剛志）、帝京大学ちば総合医療センター第三内科（リウマチ）（責任者：萩野昇）、帝京大学ちば総合医療センター第三内科（腎臓内科）（責任者：伊藤孝史）、香川大学 血液・免疫・呼吸器内科学（責任者：土橋浩章）、筑波大学膠原病リウマチアレルギー内科学（責任者：松本功）、白河厚生総合病院総合診療科（責任者：高田俊彦）</p>
研究代表者	<p>主任施設の名称：京都府立医科大学免疫内科学 研究責任者：川人 豊</p>
問い合わせ先	<p>氏名（所属・職名）：下島 恭弘（リウマチ・膠原病内科／診療教授・科長） 電話：0263-37-2673</p>

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。**

**利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、京都府立医科大学、山梨大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、京都第一赤十字病院、Johns Hopkins Glomerular Disease Clinic および Medical University of Innsbruck に提供します。**

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。